

[参考：事象を発見するまでの経緯]

- 平成20年12月10日に女川原子力発電所から低レベル放射性廃棄物（以下、ドラム缶という。）960本（輸送容器120個）を搬出
- 平成20年12月12日に日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センターへ輸送完了
- 平成21年2月2日より日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センター内において、一時保管されていたドラム缶の受入検査を開始
- 平成21年2月4日に、ドラム缶の受入検査のため、天井クレーンにて、輸送容器を検査設備の輸送容器受入装置へ巻下げを開始したところ警報が発生し、天井クレーンが停止した
- そのため、天井クレーンおよび輸送容器を確認したところ当該輸送容器と蓋を固定する4箇所のボルトが十分締め付けられておらず、わずかに蓋が浮いているのを確認した